

ご報告:ミャンマー連邦共和国(ティラワ経済特別区) 消防車寄贈事業

平成28年度海外援助事業として、日本の自治体・企業より無償譲渡いただいた消防車4台を寄贈しました。

車両の現地到着後2017年6月、供出元のうち関西エアポート(株)協力の下、新関西国際空港(株)および関西国際空港セキュリティ(株)より専門家2名を派遣いただき、寄贈車両の操作とメンテナンスに関する技術指導研修を行いました。

<現地写真>

<p>1</p> <p><基本操作></p> <p>車両の取り扱いを説明する関西国際空港セキュリティ(株)消防部 三好太一氏(中央左)</p> <p>同じ消防職員同士、言葉の壁を感じさせない熱い指導が続いた。</p>	
<p>2</p> <p><基本操作></p> <p>協力してポンプ操作・放水訓練を行う参加者達</p> <p>管理区域内には有圧の消火栓が整備されている。</p> <p>研修には近隣のタンリン区、チャウタン区所属の消防職員達も参加し、日本のやり方に倣って訓練した。</p>	

<p>3</p>	<p><基本操作></p> <p>浄水場でポンプ吸水の訓練をする参加者達</p> <p>消防施設が完成するまで、浄水場は貴重な水源となっている。</p> <p>訓練を見守る三好氏(中央)と新関西国際空港(株) 伊丹空港施設オペレーション部 山田周平氏(右隣)</p>	
<p>4</p>	<p><その他></p> <p>屋内で応急措置方法を説明する三好氏(中央・左)と山田氏(中央・右)。</p> <p>MJTD 職員らは近隣の消防署から応援が駆けつけるまではできる限り対応しなくてはならず、積極的に取り組んだ。</p>	
<p>5</p>	<p><引渡式></p> <p>2017年6月9日 ミャンマー・ティラワ経済特別区内ゾーンA 倉庫を会場に行われた引渡式</p> <p>スピーチをするMJTDティン・ハン会長。</p> <p>ミャンマー商工会議所の副会頭も兼務し、日本企業の進出を後押ししている。</p>	

<p>6</p>	<p><引渡式></p> <p>スピーチをする経済特別区管理委員会タン・タン・トゥエー事務局長</p> <p>多くの企業が集結する区域内の防災活動に不可欠な消防車が寄贈されたことに感謝の言葉を述べた。</p>	
<p>7</p>	<p><引渡式></p> <p>スピーチをする(一社)日本外交協会 長田達治 常務理事</p> <p>日本外交協会ではミャンマーへ2009年度より合計で30台以上の消防車両を寄贈している。</p>	
<p>8</p>	<p><引渡式></p> <p>スピーチをするミャンマー消防局ヤンゴン管区消防本部チー・ウイン消防長</p> <p>首都ヤンゴンでも日本から寄贈を受けた車両が運用されており、日本の支援に対し感謝の言葉を述べた。</p>	

<p>9</p>	<p><引渡式></p> <p>車両を使った模擬訓練を披露する参加者達</p> <p>僅かな訓練期間で日本の消防隊と変わらないスムーズな運用ができるようになった。</p> <p>消防車の一斉放水が成功すると会場から大きな拍手が起こった。</p>	
<p>10</p>	<p><修了式></p> <p>研修を終え、指導員から修了式を受け取るMJTD職員</p> <p>終日懸命に参加し。日本の消防隊に劣らない的確な活動が行えるようになった。</p>	
<p>11</p>	<p><修了式></p> <p>研修参加者との記念撮影</p> <p>普段交流のないMJTD、近隣消防署、警備会社から集まった15名だったが、研修を通しチームワークを高めることができた。</p>	